

平成 26 年度日本太陽エネルギー学会・日本風力エネルギー学会合同研究発表会同時開催企画

特設セッション・公開講座
「持続可能なエネルギー自給社会に向けて」
～ “いわき” からの発信～

日時：平成 26 年 11 月 14 日（金） 13：10～16：15（どなたでもご参加できます）

会場：いわき市文化センター 1 階大講義室（入場無料：定員 100 人）

主催：一般社団法人日本太陽エネルギー学会・再生可能エネルギー安心社会構想委員会

人類は古来より風雨や外敵から人間を守り、快適な生活環境を保持するための社会を築いてきました。とりわけ産業革命以降では、産業・交通・業務・家庭の各分野で豊かな現代文明社会を形成してきています。これらはすべて大量に化石エネルギーを消費することで成り立っており、地球温暖化の原因ともなっております。3.11 東日本大震災・津波および原発事故以降、エネルギー供給システムの脆弱性が露呈し、地域分散型エネルギー導入への期待が増大しています。私たち研究者・技術者は市民と協力して、新たな技術と社会システムでこの状況に立ち向かう必要に迫られています。安全で持続可能なエネルギー自給システムへの転換、地球温暖化の危機を乗り越える低炭素社会への移行が、早急に実施すべき課題です。いま、我が国で持続可能なエネルギー自給システムをめざす社会のために何が必要なのかを、石炭産業をはじめ日本のエネルギー供給に歴史的な背景のある“いわき”から新たなビジョンを皆様と共に発信したいと思えます。

プログラム（出演者 敬称略）

- ご挨拶 13：10～13：15 いわき市長（予定） 清水敏男
 はじめに 13：15～13：20 再生可能エネルギー安心社会構想委員会委員長 大野二郎
 1) 13：20～13：45 「持続可能なエネルギー社会システムをめざして」～日本の課題～
（公財）自然エネルギー財団常務理事・前東京都環境局長 大野輝之
 2) 13：45～14：10 「福島県が再生可能エネルギー 100%社会を実現する」～福島県エネルギービジョン～
いわき明星大学科学技術学部教授・福島県再生可能エネルギー導入推進連絡会会長 東 之弘
 3) 14：10～14：35 「いわき市の復旧復興に向けた取り組み」～地震・津波・原発事故からの克服を目指して～
いわき市行政経営部行政経営課主幹兼課長補佐 斎藤和哉
 （休憩）10分
 4) 14：45～15：10 「地域ポテンシャルを活かした街づくり」～復興街づくりから“低炭素社会”へ～
（株）日本設計 環境創造マネジメントセンター（CEDeMa）シニアアドバイザー 大野二郎
 5) 15：10～16：10 座談「持続可能なエネルギー自給社会に向けて」～“いわき”からの発信～
大野輝之、東之弘、斎藤和哉、大野二郎
（会場からのご意見歓迎 / モデレーター：佐藤春樹）
 おわりに 16：10～16：15 一般社団法人日本太陽エネルギー学会会長 太和田 善久

司会 慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科教授 佐藤春樹